

第4章 本計画の将来像及び基本方針・目標

4-1 求められる公共交通の役割及び課題から導き出される将来像・基本方針

(1) 将来像及び基本方針

第2章で整理した上位・関連計画で求められる公共交通の役割及び第3章で整理した本地域における課題を踏まえ、本地域における将来的な地域公共交通網の将来像と、将来像の実現に向けた基本方針を以下のとおりとします。

【北空知4町地域公共交通計画の将来像】

次世代につながる最適な公共交通網の構築

基本方針①： 利便性を確保した合理化等の実施による持続的な公共交通の確保	対応する 課題	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
<ul style="list-style-type: none">本地域の将来を見据えた、持続可能で活力ある地域づくりや観光振興などにも寄与する公共交通ネットワークを構築することが重要です。また、現状及び課題等を踏まえると、地域の実情を踏まえた公共交通を確保するため、利用実態に応じた運行規模の適正化を図りながら、交通モード間の接続性を高めるダイヤの見直しや地域内拠点の機能強化など、広域交通、地域間交通及び生活圏交通が有機的に繋がった最適な公共交通網の確保に努める必要があります。		
基本方針②： 公共交通の利用促進・持続性の確保	対応する 課題	1, 2, 4, 5
<ul style="list-style-type: none">本地域における公共交通網の維持にあたっては、基本方針1で掲げる公共交通ネットワークの構築や運行規模の適正化などのみならず、公共交通を利用してもらうことが重要です。また、持続可能な公共交通の実現に向けては、住民だけでなく、本地域外から訪れる方にも利用してもらうことも重要であり、住民・来訪者の両者にとって、公共交通が利用しやすくなるような利用促進策が必要です。		

(2) 基本方針の実現に向けた目標

基本方針の実現に向けた目標を以下に整理します。

基本方針1：利便性を確保した合理化等の実施による持続的な公共交通の確保

目標①

多様な目的へ対応し、利便性の向上及び目的地までの速達性に配慮した広域交通の確保

本地域で実現する利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けては、住民をはじめとする多様な利用者の広域的な移動に対応した円滑な広域交通を確保していくとともに、「JR留萌本線沿線自治体会議」での協議・検討結果を踏まえた、円滑な交通モードの検討を行っていく必要があります。

目標②

利便性の高い生活移動の実現に向け、最適化を図った持続可能な地域間交通の確保

利便性の高い地域間交通の確保に向けては、広域交通、地域間交通及び生活圏交通の各交通が継続目無く利用できる環境整備を進めるとともに、利用実態に応じた運行規模の適正化も進める必要があります。

目標③

地域内での生活を豊かにする生活圏交通の確保

本地域に安心して住み続けるための生活圏交通の確保に向けては、地域内拠点において広域交通・地域間交通との接続性を確保した交通体系を構築するとともに、郊外部・農村部から各市街地までアクセス可能な交通モードの確保も進める必要があります。

基本方針2：公共交通の利用促進・持続性の確保

目標④

公共交通を住民及び来訪者に知ってもらう、使ってもらうための利用促進策の展開

本地域を運行する各公共交通を維持していくためには、住民や本地域への来訪者などに、広域交通・地域間交通・生活圏交通を知ってもらい、利用してもらう取組の実施のほか、便利に利用できる環境整備を進める必要があります。

(3) 課題と基本方針の対応関係

